

文化 | 労働 | 自然

東京と群馬県の山村を往復する中で
独自の思索を深めている哲学者、内山氏。
混沌とした現代社会を生きるためのヒントとは？

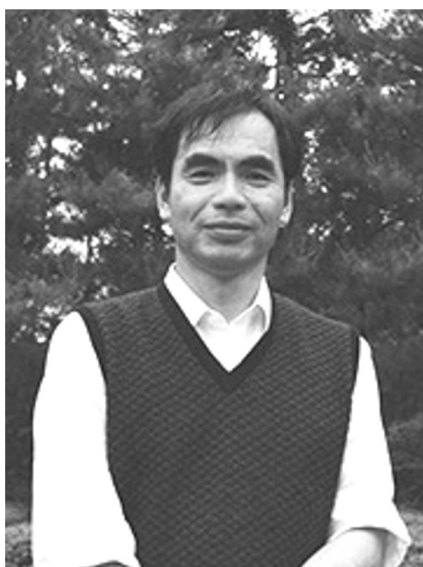
2025年11月26日 水

14:00-16:00 開場13:30

めぐろパーシモンホール 小ホール
目黒区八雲1-1-1 めぐろ区民キャンパス内

定員180名 入場無料

※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。



講師

内山 節氏 (うちやま たかし)

1950年生まれ 哲学者
東京大学大学院人文社会系研究科兼任講師
立教大学、同大学院教授を歴任
東京と群馬県の山村・上野村との二重生活をしている
現在、NPO法人・森づくりフォーラム代表理事など
主著：

『「里」という思想』（新潮選書）

『文明の災禍』（新潮選書）

『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』
(講談社現代新書)

『いのちの場所』（岩波書店）ほか

未来のヒントをどこに見出すのか